1 東日本大震災にかかる震災関連講座

2	ちいさな黄色い手紙プロジェクト　～菜の花畑を描こう～			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
	2017年、復興支援事業として福島、ウクライナ、愛知を結ぶプロジェクトとして「ちいさな黄色い手紙プロジェクト」を実施した。福島、ウクライナの両地に土壌改善の効果を期して愛知から送られた菜の花をモチーフに、子どもたちの作品展示とワークショップを行った。ワークショップでは菜の花の絵巻物を描き、3地域を結ぶツールとした。本講座はこの絵巻物制作の体験活動になる。			

2 短期大学部の教育に関連する講座

3	現代社会における産業とデザインの役割			
	講師	産業情報学科　　各専任教員		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし
	この講座では産業情報学科で学ぶ「経営学」、「商学」、「会計学」、「経済学」、「情報学」、「インターフェース」、「インテリア」、「クラフト」、「グラフィック」、「プロダクト」の各専門分野について簡単に説明し、産業情報学科で学ぶことのイメージを捉えていただきます。また各専門分野について学ぶことがこれからの社会でどのように役立っていくのかについてわかりやすく説明します。			

4	食物と栄養と健康			
	講師	食物栄養学科　　各専任教員		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度
	健康で生き生きと楽しく生活していくためには、いろいろな食べ物をどのように食べるかの知恵が大切です。また、からだを健康に保つための運動の仕方も知っておかなくてはなりません。 この講座では、食物栄養学科で学ぶ、「食べ物ってなに？」、「おいしく、からだにいい食事をつくるには？」、「病気のときの食事はどうするの？」、「ウォーキングって？」など、『食べること』と運動の知恵について、お話しします。			

5	幼児教育・保育と福祉			
	講師	幼児教育学科　　各専任教員		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	50名程度
	幼児・児童の発達、障がい、貧困、虐待など、こどもを取り巻く環境の諸問題について目を向け、こどもの生活の質向上のために活用可能な主な方法、技術について学ぶとともに、幼児教育・保育と社会福祉（ソーシャルワーク）のそれぞれの視点に注目し、教育・社会福祉双方の現場で両者が連携することの意義と効果、今後の可能性について学びます。			

3 経済に関連する講座

6	幸福の経済学			
	講師	産業情報学科　　准教授　　木谷　耕平		
	対象	高校生・一般	受講者人数	50名程度
	皆さんはどの程度、生活に満足しているでしょうか？経済協力開発機構（OECD)によると、日本の生活満足度はOECD加盟国の平均よりも低くなっています。日本は戦後、高度経済成長を経て世界でも有数の高所得国となりましたが、生活満足度はそれほど上がらなかったことが指摘されています。この講座では、どのような要因が人々の生活満足度や幸福度を決めるのかなど、「幸福の経済学」の研究から得られた知見をわかりやすく紹介します。			

7	日本は政府の借金を返せるのか？			
	講師	産業情報学科　　准教授　　木谷　耕平		
	対象	高校生・一般	受講者人数	50名程度
	日本の政府には膨大な借金があり、その額は増え続けています。なぜ日本は多くの借金を抱えることになったのでしょうか。政府の借金が増え続けると、どのような問題があるのでしょうか。日本が借金を返せなくなることはあるのでしょうか。政府の借金が増えた理由、多額の借金を抱えていることの経済的意味、そして将来的に借金を返済することができるのかどうか、皆さんと考えてみたいと思います。			

8	経済学ってなんだろう？			
	講師	産業情報学科　　准教授　　木谷　耕平		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	「経済学」と聞くと、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。「お金」「企業」「銀行」などの言葉を思い浮かべるかもしれません。経済学では確かにこうしたテーマも扱います。しかし、実は経済学はそれよりもはるかに幅広いテーマについて研究しています。この講座では、経済学ではどのようなことを研究しているのか、最新の知見を交えつつ解説します。			

9	会津の水力発電			
	講師	特任研究員　　石光　　真		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	会津地方は明治時代以来水力発電が盛んでした。誇るべきその歴史を振り返ります。			

4 地域問題・地場産業に関連する講座

10	買物弱者問題の対応に向けて			
	講師	産業情報学科　　准教授　　八木橋　彰		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	近年、商店街や住宅地近くの小売店が減少し、食料品や日用品の買物が困難な消費者が増加しています。また、この問題は、中山間地域のみならず、都市部にも拡大しています。その一方で、食料品や日用品を提供する小売業は、採算性の問題を無視できず、対応が遅れているのが現状です。本講座では、この問題の解決に向けて、小売業、地方自治体、消費者の連携体制や今後のあり方について参加者の皆様とともに考えたいと思います。			

11	地域資源の価値を高めるために～ブランディングの手法を学ぶ～			
	講師	産業情報学科　　准教授　　八木橋　彰		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	近年、政府による地域政策が地方分権へ転換しつつあり、日本の市町村は、地域活性化や地方創生に向けた独自の戦略構築が求められるようになりました。そこで注目されているのが、地域資源の活用です。日本各地には、農産物や特産品、さらには歴史・伝統・文化など有形無形を問わずさまざまな地域資源が存在し、すでに固有の価値を持っていますが、その価値を高めるためには、自分の住んでいる地域資源を理解したうえで、価値を最大化させる活動、すなわちブランディングを行う必要があります。また、産学官連携の推進やICTの発達もあり、ブランディングの方法も多様化しています。この講座では、皆さんが置かれている状況や視点（例えば、個別事業者の視点、行政の視点、教育的な視点）に応じて地域資源を知る方法や効果的なブランディング手法について考えます。			

12	畑で学ぼう食べもののこと環境のこと			
	講師	食物栄養学科　　助手　　阿部　桂子		
	対象	幼児・小学生・中学生・一般	受講者人数	10名
	2021年度から第4次食育推進計画が開始されました。重点事項の１つとして、持続可能な食を支える食育の推進が掲げられています。健全な食生活の基盤として持続可能な環境が不可欠であり、食育においても食を支える環境の持続に資する取組を推進することが重要です。農を基幹産業とする福島県において、農業について多くの人に関心を持っていただきたいです。実際に畑で野菜を作ってみませんか？収穫体験や、採れたての野菜を使った料理教室を企画します。特に親子でのご参加をお待ちします。			

13	人口減少社会のまちづくりを考える			
	講師	特任研究員　　牧田　和久		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	少子高齢化の進展に伴い人口減少問題は大きくクローズアップされています。特に地方都市を含めて市町村や地域のまちづくりのあり方が問われています。空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニティーや町内会活動の低下、独居老人世帯の増加、公共交通の赤字化、中心市街地の空洞化、商店やガソリンスタンドなどの廃業、現業の低迷と後継者不足、労働力の低下や労働環境の悪化、経済規模の縮小化など人口減少問題は多岐にわたっています。ここでは、空き家問題を中心に地域の維持・再生を図るためには、どのような展開方法が可能かについて考えてみたいと思います。			

14	人生百年時代の生涯学習の役割と持続可能な地域づくり		
	講師	特任研究員　　森　　文雄	
	対象	一般	受講者人数　上限なし
	2050年には65歳以上世代が38％となり、超高齢化社会が到来し、労働年齢人口率（20-65歳）は45％まで低下する。高齢者の平均余命は今後も伸び続け、高齢期はさらに長くなっていく。他方、年金の支給開始年齢引き下げが予定されていることから、就労期間の延長が必要となる。特に、40- 50代の時期は一生働き続けられるだけの知的武装が再度必要な時期 となる。一方、学校教育で修得した知識・技能の陳腐化は社会変化の進行速度に比例して急激に進行していく。よって、時代変化に適応できる研修機会であるリカレント教育（学び直し教育）の重要性がますます増大している。同時に健康寿命を延ばすための生涯スポーツ分野、教養分野と趣味３分野のバランスのとれた生涯教育の構築による地域づくりについて考える。		

15	先進的中山間地域の活性化モデル		
	講師	特任研究員　　森　　文雄	
	対象	高校生・一般	受講者人数　上限なし
	農業もグローバル競争の波に大きく影響される時代となっていますが、会津地方の中山間地域農業の大半は大規模化が困難な条件不利地域での農業です。また、全国的にも奥会津地域は高齢化率がかなり高い地域で、人口減少が続いています。しかし豊かな自然資源や伝統文化資源に恵まれた地域でもあります。それらの多様な資源を活用した会津中山間地域の活性化策や課題について、グリーン・ツーリズムや農業の6次化等の先進的モデルを取り上げることによって考えます。		

16	過疎地域における棚田オーナー制度の導入と展開方法について		
	講師	特任研究員　　森　　文雄	
	対象	一般	受講者人数　上限なし
	ワーキングホリデーの実施から棚田オーナー制度の立ち上げに至る経過について、奥会津の条件不利地域である柳津町久保田地区、喜多方市高郷町揚津地区、会津美里町関山地区、下郷町芦ノ原地区および三島町大石田地区について、それぞれの地域特性や地域資源を踏まえて、その特長や課題についての実際的な話から、中山間地域の集落活性化について考えます。		

17	地場産業とマーケティング		
	講師	特任研究員　　森　　文雄	
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数　上限なし
	長い伝統を持つ地場産業の集積が全国各地に見られますが、その多くが停滞ないしは衰退傾向にあります。海外製品との競争や新たな消費者ニーズへの適応などに課題を抱えています。競争力のある製品づくりの手法として、産業観光の手法や地域ブランド化がありますが、その課題や問題点および可能性について、イタリアと比較しながら提案します。		

5 コンピュータ・情報化社会に関連する講座

18	クチコミ分析・データ分析をはじめよう			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	高校生・一般	受講者人数	40名程度
	ネット上のつぶやき、ショッピングの購入履歴、位置情報などあらゆる情報がデジタル化され蓄積される時代になりました。この膨大な情報はビッグデータとよばれビジネスだけでなく教育など広い分野で注目されています。この講座ではこれらのデータの中からSNSなどに投稿された大量のクチコミについて、情報の意味がわかるように視覚化する基礎的手法から、実データに対応した統計的なテキストマイニングの手法まで、受講される方の目的に応じた解説をします。また要望に応じて、ExcelやRMeCabといったソフトウェアを使ったテキストマイニングの活用方法についても取り上げたり、統計的なデータ分析の際にやってしまう失敗例なども紹介します。		

19	やさしい暗号のはなし			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	暗号というとコワモテな印象が強いですが、我々の周りにはスマートフォンや地上デジタル放送など暗号技術がいたるところで使われています。この講座では暗号文を作ったり、解読したりということを実際に体験してもらい、暗号の基本的なしくみを楽しみながら理解してもらいます。また、高校生以上の講座の場合には、情報処理技術者試験にも登場する公開鍵暗号や電子署名などの技術について、その考え方やアルゴリズムについて事例を交えながら解説します。			

20	インターネット・スマホ　子どもにどう使わせる？			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	一般（子どもをもつ保護者の方など）	受講者人数	上限なし
	スマホやインターネットは子どもにとっても身近な存在になっています。一方、スマホだけでなくゲーム機や携帯用音楽プレイヤーでも簡単にネットへアクセスできるようになったことで、保護者の知らないところでSNSでのトラブルに巻き込まれたり、有害情報に接してしまったりするケースも増えています。また、保護者によるペアレンタルコントロールがうまくできないとネット依存になってしまうこともあります。そこで、この講座ではスマホなどの情報機器を子どもに安心して使わせるために、トラブル事例の紹介、保護者が最低限知っておくべきネット知識、フィルリタリングの活用法などについて解説します。			

21	スマホ・ネットと上手につきあうために			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	スマホ用のアプリをダウンロードしたらおかしな画面が表示されるようになった。知らないうちにSNSの自分のアカウントが利用された。ウイルスの警告画面が表示されたので、OKをクリックしたら操作できなくなった・・・ このように身の回りにはネットにまつわるセキュリティ上のトラブルがたくさんあります。また、SNSなどの普及により子ども同士でのネット上のトラブルやネットいじめ、ネット依存など、使い方に起因するネットトラブルも深刻になっています。この講座では、インターネット利用時の自己防衛の方法について、対象者の年齢に合わせた事例を交えながら学びます。可能であればPCやスマートフォンを用いた体験的な学習も可能です。受講者した方が自信を持ってインターネットの世界を歩けるようになることを目指します。			

22	ネットビジネスの可能性			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	高校生・一般	受講者人数	40名程度
	スマホやパソコンを使っていると、自分が興味を持ちそうな商品や過去に調べた商品が広告として的確に表示されてどうしてだろうと思うことはありませんか？SNSやショッピングサイトに溢れるクチコミ情報はどこまで信用できるのかなと感じませんか？消費者の立場でもこのような多くの不思議があるネット上の様々なビジネスやサービス。この講座では消費者の立場だけでなく、企業側から見たネット上での広報活動、市場調査、決済システムなど、ネットビジネスの実例や効果などについてわかりやすく解説し、個人や中小企業にとっての活用方法についても取り上げます。また、AI、ビッグデータ、IoTなどの新しい技術によって、これからのビジネスや社会の形がどのように変わっていくのかということについても時間の許す範囲で取り上げます。			

23	小学生から学べるかんたんプログラミング			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	小学生３年生以上～中学生	受講者人数	30名程度
	現在の情報化社会には欠かせないコンピュータ。これらはすべてプログラムで動いています。このプログラムを作ること、すなわちプログラミングをコンピュータを使いながら学びます。内容は小学生が楽しく・わかりやすく学べるように、キャラクタを使ったクイズやゲームのプログラムを作成します。プログラムのしくみを理解できるだけでなく、筋道を立てて考える力、構成などを考える力、空間や距離などの立体認識力の向上も期待できますので、この機会にコンピュータサイエンスの世界を体験してみましょう。 ※ 算数、音楽などと関連付けた内容にすることも可能ですし、プログラムでドローンを飛ばすこと、AIを使った無人レジ用のプログラム作りもできます。 ※ 本学の施設での受講やノートPC・ドローンなどの必要機器を持参しての講義にも対応できます。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。			

24	先生のためのプログラミング教育導入ことはじめ			
	講師	産業情報学科　　教授　　中澤　　真		
	対象	小中学校教職員（教育関係者）	受講者人数	40名程度
	小学校でプログラミング教育が2020年から必修化されましたが、どのような内容にすべきか迷っている学校がまだまだ多いようです。とくに総合の学習の時間で単発的・体験的にプログラミングに触れさせるだけでなく、算数や理科といった一般教科の中でプログラミングを関連付けた授業をするには先生方が十分に理解していることが必要になります。この講座では、小学校中学年～高学年向けのプログラミングの授業の導入から、算数や理科などでの発展的な授業展開まで、どのように進めたらよいかをお話します。また、コンピュータを利用できる環境があれば、実際にプログラミングを体験しながら学ぶことも行います。まずは、先生自身がプログラミングに触れることからはじめてみませんか？ ※ コンピュータ環境がない場合には、本学の施設を利用しての講座も可能です。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。			

6 経営学・会計学に関連する講座

25	会社ってなんだろう			
	講師	産業情報学科　　教授　　平澤　賢一		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	100名以下が望ましい
	多くの会社が私たちの生活と密接な関わりを持っています。便利な商品やサービスを提供する会社や社会的貢献に注力する会社がある一方で、ときに社会的な問題を引き起こす会社もあります。中学校の「公民」では、株式会社について学んでいるかと思います。中高生の皆さんの多くは、やがて何らかの形で「会社」で「働く」ことになりますが、「会社」と「企業」の違いも含め、社会における「会社」の役割を考えてみましょう。このテーマに「働くってなんだろう」を合わせてお話しすることも可能です。			

26	グローバル化する企業			
	講師	産業情報学科　　教授　　平澤　賢一		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	100名以下が望ましい
	私達の身の回りには、Made in ChinaやMade in Vietnamなど、日本製以外の商品を多く見かけることと思います。現在、日本から外国へ、外国から日本へ進出する企業があります。海外に工場を作り、その国の人々を雇うのです。外国人が沢山働く企業も日本でも見られます。企業はなぜ国境を越えてビジネスを行うのでしょうか。外国人と一緒の職場ではどのような苦労があるのでしょうか。1989年の「ベルリンの壁崩壊」が東西冷戦終結につながり、市場のグローバル化が加速したともいわれますが、新型コロナの影響でグローバル化の動きにも大きな影響が出ました。企業グローバル化に伴う諸課題について事例を交えてお話しします。			

27	ダイバーシティ経営のABC			
	講師	産業情報学科　　教授　　平澤　賢一		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	100名以下が望ましい
	「ダイバーシティ」という言葉を耳にしたことはありませんか。「多様性」と訳されます。性別や人種や年齢などの見た目だけではなく、文化や価値観なども含め、多様な人材を積極的に活用して会社経営にも良い影響を与えましょうという考え方です。さらに、「許容する」意味の「インクルージョン」がなければなりません。「女性」が活躍することがダイバーシティだと思っている会社がまだ見られますが、それでは十分ではありません。日本社会では、「障がい者」の活用もまだまだです。次世代を担う皆さんとこのテーマで考える機会を持てればと願っております。			

28	利益の仕組み			
	講師	産業情報学科　　准教授　　大橋　良生		
	対象	高校生	受講者人数	40名程度
	普段の生活の中で買い物をしていると、同じ商品なのに、あっちの店とこっちの店で価格が違うことに気がつくと思います。この講座では、商品価格の裏側にある利益の仕組みについて学習します。			

29	会計に関する仕事のいろいろ			
	講師	産業情報学科　　准教授　　大橋　良生		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	40名程度
	公認会計士、会計事務所、監査法人、ファイナンシャル・プランナー、税理士、国税局、会計検査院など、会計（お金）と深く関連する職業・資格は聞いたことはあるけど、実はあまり知らないことが多いのではないでしょうか？この講座では、会計に関する職業・資格・検定についてお話しします。			

30	マーケティングってなんだろう？			
	講師	産業情報学科　　准教授　　八木橋　彰		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	マーケティングとは、消費者を理解し、それに適した効率的・効果的な製品開発や販売活動を行うことです。こうした活動は、一般的にはビジネスでしか行われていないと思われがちですが、実は、皆さんも日常生活のさまざまな場面で無意識に実践しています。例えば、学生の皆さんであれば、テスト勉強や受験勉強、さらには部活動においても実践しています。この講座では、マーケティングについて、ビジネスの視点のみならず、日常生活の視点を交えて解説いたします。			

31	流通・商業の役割			
	講師	産業情報学科　　准教授　　八木橋　彰		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	普段、私たちはスーパーやコンビニエンス・ストアなどの小売店を通じて買物を行っていますが、そこで購買する商品はどのようにしてたどり着いていると思いますか。また、現在では、遠くの産地で取れた肉や魚を新鮮な状態で買うことができますがそれはなぜでしょうか。さらには、福島県はコンビニエンス・ストアの歴史にも深く関わりを持っていますが、それはなぜでしょうか？この講座では、こうした疑問について、日本の流通・商業の具体的な事例を踏まえながら解説いたします。			

32	消費者行動の不思議－あなたもだまされている？			
	講師	産業情報学科　　准教授　　八木橋　彰		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	皆さんは、赤といえば〇〇、青といえば〇〇など色に対するイメージを持っていると思います。企業はこのイメージを巧みに利用して、皆さんが商品を自然に手に取り購入するように誘導することがあります。この講座では、なぜこのようなことができるのか、ということを説明するとともに、皆さん自身が消費者でもあることから、実演やワークショップを交えて解説します。			

33	健康経営について考える			
	講師	特任研究員　　森　　文雄		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	健康で、元気に、明るく、生き生きと働き続けられる職場が望まれているが、必ずしも一般的ではないことが問題である。職場での従業員は精神的ストレス、長期休業や多種類の疾患を抱えている。他方、事業者も従業員の欠勤や離職者の発生、医療費の上昇、人手不足問題、そして生産性の低下に直面している。 健康経営を実現するには、経営者の一貫したリーダーシップが不可欠であり、経営者が社内外に「健康経営についての全社方針」を情報発信することが必須である。それに基づいて具体的な施策を実施することで、、従業員利益と企業利益の一致を目指すのが健康経営の考え方である。			

7 建築・デザインに関連する講座

34	まちを再生する９９のアイデア			
	講師	産業情報学科　　教授　　柴﨑　恭秀		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	シャッター通りになってしまった商店街や街並みの景観を整備し人の賑わいを取り戻すためのアイデアを、実践例を含めてご紹介いたします。また東日本大震災を経験して分かりました街としての備えや復興のきっかけづくりの手法について、著書「まちを再生する９９のアイディア」を参照しながら皆さんと一緒に考えていきます。			

35	生活・空間における近現代デザイン史			
	講師	産業情報学科　　教授　　柴﨑　恭秀		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	19世紀末から20世紀初頭において、モダニズムをはじめとするデザイン潮流が、現在のわれわれの生活に大きな影響を与えました。ヨーロッパで起こった工芸運動や産業の変遷によって変化を遂げたわれわれの生活において、デザインがどのように取り入れられ、建築空間が変化を遂げたかをヨーロッパ、日本を比較しながら考察します。			

36	色彩			
	講師	産業情報学科　　教授　　髙橋　延昌		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	30名程度
	普段の生活でも色にはいろいろな効果があります。また、最近はパソコンでカラフルな書類や発表資料をつくることがありますが、そこでの配色効果も重要になってきています。そのような身近な問題解決にも役立つような色の働きについて、初級者向けから応用的な内容までご要望に応じたいと思います。			

37	おもしろフォトアート			
	講師	産業情報学科　　教授　　髙橋　延昌		
	対象	小学生・中学生	受講者人数	30名程度
	タブレット端末やスマートフォンなど身近な機器を活用して、トリックアートのような面白い写真を撮影してみましょう。とくに小学校や中学校で普段使っているタブレット端末（iPad）の活用を目指します。			

38	ホームページデザイン講座（初心者コース）		
講師	産業情報学科　　准教授　　横尾　　誠		
対象	高校生・一般	受講者人数	20名程度
今インターネット上にはたくさんのホームページがあります。その中にはきれいに整ったホームページ、見やすいホームページなどいろいろあります。どのようにしたら自分が作るホームページがきれいに整ったサイトに見えるだろうか。見やすくなるだろうか。そのようなホームページデザインを目指すための講座です。ホームページデザイン初心者コースです。			

39	ホームページデザイン講座（経験者コース）		
講師	産業情報学科　　准教授　　横尾　　誠		
対象	高校生・一般	受講者人数	20名程度
ホームページを制作する際の作業要素として、１.情報の構造化、２.コーディング、そして３.デザインがあります。特に、２.３.は日々変化し発展しています。例えばデザインについて、近年は大小様々な形態の画面に対応する必要があり、その機器の使用場所によって必要とする情報が変化しています。ホームページデザインの今後についても考えていきたい講座です。ホームページデザイン経験者コースです。			

40	問題発見・解決に役に立つデザイン思考のベーシック		
講師	産業情報学科　　講師　　沈　得正		
対象	高校生・一般	受講者人数	30名程度
デザイン思考という言葉を聞いたことがありますか？言葉から見ると、デザイナーだけの思考様式のように見えますが、実際にはビジネスなど多様な分野で応用されている考え方です。デザイン思考とは、ユーザをリサーチすることでユーザのニーズを理解した上で、ユーザが直面している問題を解決するために新しい可能性を生み出す手法です。デザイン思考はデザイナーだけでなく、マーケターや商品開発を担当されている方など、幅広い職種の方に役立ちます。本講座では、デザイン思考の基本について説明し、ワークショップを通じて一連なプロセスを体験することができます。			

41	デザインで自らの生活をより楽しくしよう		
講師	産業情報学科　　講師　　沈　得正		
対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
本講座では、「デザインとは何か」から紹介してから、デザインと楽しさの関係について解説します。後半では、参加者の皆さんにとって楽しいことをワークシートに記入・整理してもらうことで、自らの生活をより楽しくできる方法をデザインの視点から参加者の皆さんと一緒に考えていきます。キーワードは頭の中に考えていることの整理と実践です。			

42	毎日使う道具の認知心理学：インタラクションの基本原則			
	講師	産業情報学科　　講師　　沈　得正		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	40名程度
	我々の生活の中、製品やら操作インターフェースやら、何らかの形でデザインされたモノで構成されています。勿論、良いデザインも悪いデザインも存在しています。本講座ではモノの使いやすさを中心に、ユーザーのエクスペリエンスに合うデザイン要素の一つであるインタラクション原則を焦点に当てて論じます。それらを理解する共に日ごろ接するモノを正しく評価する目を養うことがこの講座の目的です。モノが使いにくいのは「自分が悪い」のではなく、「デザインが悪いんだ」と理解していただきたいです。			

43	ポスターをデザインしてみよう！			
	講師	産業情報学科　　講師　　北本　雅久		
	対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	20名程度（応相談）
	19世紀から現代に至るまで、人の視線を惹きつけるポスターが数多く制作されてきました。プログラムの前半は優れたポスターデザインを鑑賞し、情報の伝達方法を学びます。後半は文字や写真、イラストレーションなどを用いてポスターを制作し、視覚に訴えかける紙面の構成方法を身につけます。鑑賞と制作を通して、ポスターデザインの可能性と魅力を体感していきます。※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。			

44	ロゴをデザインしてみよう！			
	講師	産業情報学科　　講師　　北本　雅久		
	対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	20名程度（応相談）
	街を歩くと様々なロゴに出会えます。それらは企業や商品、イベントなどのイメージを具現化し、社会にアピールするための目印です。このプログラムでは、イメージを周りの人に発信するロゴをデザインします。試行錯誤を重ねながら制作することで、表現力・伝達力を高めるきっかけになるでしょう。※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。			

45	パッケージをデザインしてみよう！			
	講師	産業情報学科　　講師　　北本　雅久		
	対象	小学生・中学生	受講者人数	20名程度（応相談）
	スーパーやコンビニには様々な色や形状の食品パッケージが並んでいます。どのパッケージデザインも、写真・イラスト・模様などの素材を巧みに用いて中身の味や香り、食感をイメージさせることで「美味しさ」を最大限に演出しています。このプログラムでは、制作を通して「美味しさ」を伝える表現方法について学びます。※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。			

46	デザインて何？		
	講師	特任研究員　　時野谷　茂	
	対象	中学生・高校生	受講者人数　上限なし
	「それはデザインです。」こんな言葉を良く耳にします。デザインとはうまく説明しにくい感覚的なものを表すのに便利な言葉。はたしてそうでしょうか。デザインはもっと実際的な根拠をもって語られるべきものであるし、人々の生活に密接に関係しているものです。これはデザイン。これもデザイン。そんなデザインの多様性とデザインの本質について考えてみましょう。		

47	狙われない防犯住宅		
	講師	特任研究員　　牧田　和久	
	対象	高校生・一般	受講者人数　上限なし
	全国の住宅対象の侵入盗の侵入手段では、ガラス破り、焼き破り、切り破り、カム送り解錠、サムターン回しなどが増加傾向にあり、検挙率は低下しつつあります。 こうした犯罪に対して、狙われやすい場所とは、狙われない防犯住宅とは、どのような対策を行う必要があるのか、設計から防犯製品・設備を含めた、最近の情報を解説するお役立ち「防犯対策講座」です。		

48	ユニバーサルデザインのまちづくり		
	講師	特任研究員　　牧田　和久	
	対象	高校生・一般	受講者人数　上限なし
	過去のまちづくりは、概ね成人の平均値が基準となりデザインされてきました。しかし、乳幼児から高齢者までに至る様々な人々から見ると、まちなかには多くの障害が存在し、社会参加や活動を難しくしています。高齢社会が進んできた今日、まちづくりは誰のためかが改めて問い直されています。人を区別することなく、誰にも優しいユニバーサルデザイン（UD）が普及しつつありますが、このＵＤのまちづくりについて考えます。		

8 工芸に関連する講座

49	うるしってなに？		
	講師	産業情報学科　　教授　　井波　純	
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数　40名程度
	漆という言葉は意外と若い方も知っていますが、どういう素材かについてはほとんどは詳しく知られてはいません。この講義では、漆の特徴や性質について解説し、日本の歴史の中での漆芸について検証しながら、独特の発展を遂げた漆芸文化について理解を深めていきます。		

50	うるしうるわしのアジア			
	講師	産業情報学科　　教授　　井波　純		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	漆は、日本のみならず東南アジアを中心に広く分布しています。それぞれの国に漆を用いた文化があり生活の中で息づいています。この講義では映像資料をもとに、アジアの様々な漆文化を紹介し、日本の漆文化の独自性も考察しながら、より漆に対する理解を深めていきます。			

51	お気に入りの器をいつまでも（金継ぎのすすめ）			
	講師	産業情報学科　　教授　　井波　純		
	対象	一般	受講者人数	20名程度（応相談）
	普段の生活の中で、誰でもお気に入りの器を持っていると思います。それは、毎日使うものであったり、特別なものであったり、陶磁器だったり漆器だったりとさまざまですが、ふとしたことで割れたり、欠けたりして残念な思いをしたことはありませんか？この講座では、漆を用いた「金継ぎ」という器の修復技法について講義を行います。使い捨て文化から、物を大切にする意識へと徐々に変化している現在、はるか昔から日本で行われてきた修復技法は、新たな景色を器に与える、現代でも価値のある技法です。			

9 栄養・健康に関連する講座

52	糖質のはなし			
	講師	食物栄養学科　　教授　　左　一八		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	私たちの体の中で糖質がどのようなしくみで利用されているのか、利用がうまくできなくなるとどんな体の変化がおきるのかについて解説します。甘いものを食べ過ぎるとなぜ太るの？ 糖質ダイエットはだいじょうぶなの？ 糖質の吸収をゆるやかにする食品（トクホ）にはどんなものがあるの？ などなど、糖質にまつわる身近なことをあわせてお話します。			

53	食生活改善地区組織育成支援について			
	講師	食物栄養学科　　教授　　鈴木　秀子		
	対象	一般・市町村	受講者人数	上限なし
	食生活改善地区組織は、戦後から国民の食生活改善および健康づくりのために活動してきました。今後は、地域力を高める組織活動が期待されています。本講座では、地域力再生の担い手としての地区組織（食生活改善）の育成支援をどのように進めたらよいのか、一緒に考えていきます。			

54	食育を考えよう！			
	講師	食物栄養学科　　教授　　鈴木　秀子		
	対象	保育所・幼稚園、小・中学校、一般	受講者人数	上限なし
	幼児・学童期に望ましい食習慣を育成し、食を通じて豊かな人間性の育成を図ることは重要です。しかし、近年は社会環境や生活様式の多様化に伴い「食」が疎かにされ、子どもたちの心と体の健康問題が指摘されています。本講座では、食材・料理・栄養・おもてなし一　食事の場面や食べ方までも大切にしてきた日本人の伝統的な食文化「和食」を基に、日常的で楽しい家庭の食育、保育所・幼稚園、学校の食育のすすめ方について考えていきます。			

55	「食生活の自立」を応援します！			
	講師	食物栄養学科　　教授　　鈴木　秀子		
	対象	中学校・高校・一般	受講者人数	上限なし
	健康で豊かな人生をおくるために食生活の自立は重要です。「おいしく食べる」「楽しく食べる」「バランスよく食べる」「自分で料理を作る」「自分の食生活を管理する」ために、一緒に学びましょう。			

56	子どもの食生活と栄養			
	講師	食物栄養学科　　教授　　鈴木　秀子		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	子どもが順調に発育するためには適切な栄養が必要です。また、子どもの食は家庭や学校の中で育まれるので、子どもたちが健全な食習慣を身につけるためには家族や学校の取り組みが重要です。しかし、近年、核家族や共働き世帯が増え、家族が集う食卓の減少や栄養バランスの偏り・不規則な食事の増加が、子どもの食や健康に影響を及ぼしています。各発育期にどのような栄養が必要なのか、食生活はどのようなことに留意すれば良いのかについてお話します。			

57	きのこについて			
	講師	食物栄養学科　　准教授　　武井　利之		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	お店で売られているきのこ達の故郷は森林や草原です。自然界での、きのこの働きや生活について紹介します。また、天然のきのこと栽培されるきのこの違いや、きのこがどのように栽培されているか、食品としてのきのこの特徴、最近の研究事例などについても紹介します。			

58	食物アレルギーと体の機能			
	講師	食物栄養学科　　准教授　　漆谷　博志		
	対象	中学生以上	受講者人数	上限なし
	私たちの食生活における身近な問題点として、食物アレルギーがあります。アレルギーとは、本来なら害のない物質を体が異物として認識・記憶してしまい、これらを排除しようとする免疫反応が過剰に働くことで、様々な症状が出ることを指します。このアレルギーが食べ物により引き起こされることを、食物アレルギーと呼んでいます。本講座では、食物アレルギーについて、私たちの体の構造などに焦点を当て、その仕組みについて解説などを行います。			

59	環境と生物のはなし			
	講師	食物栄養学科　　准教授　　漆谷　博志		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	われわれ人間を含む生き物は、環境から様々な影響を受けて生きています。その中でも、オスになるかメスになるかが、温度やホルモンなどにより変わってしまう生き物たちがいます。このような生物は、人間の生活活動から出る様々な化学物質により影響を受けています。また、人間自身もそれらの化学物質により影響を受けることが心配されています。そこで、この様な環境要因と生物との関わりについて解説します。			

60	生活習慣病のきほん～体の中で何が起こっているかご存じですか？～			
	講師	食物栄養学科　　講師　　加藤　亮		
	対象	一般	受講者人数	40名程度
	BMI（ビーエムアイ）、体脂肪率、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）、悪玉・善玉コレステロール、中性脂肪、血圧など‥毎年健康診断でみる検査値について、名前は知っているけど何を現しているのかイマイチわからないものはありませんか？本講座では、肥満、糖尿病、脂質異常症（高脂血症）、高血圧症について体の中で何が起こっているのかを簡単に説明します。病気のしくみを知れば、検査値が何を現しているのか理解できます。さらに食事（栄養素）と病気、検査値の関係もお話しします。			

62	介護予防運動について			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	一般（高齢者施設関係者等）	受講者人数	40名程度
	超高齢者社会の中、平均寿命の延伸のみならず、健康に過ごすことのできる健康寿命の延伸が求められています。そこで生活機能向上のトレーニングおよび様々な介護予防プログラムの理論及び高齢者筋力向上等トレーニングについて学びます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。			

63	健康寿命延伸のための筋肉量の測定と貯筋法について			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	一般（高齢者施設関係者等）	受講者人数	40名程度
	元気で健康に過ごすことのできる健康寿命を延ばすことは、社会的にも重要である以上にご自身が自立した生活をし続けることが出来ることは何より望まれることであると思います。今年度から75歳以上でフレイル検診が始まりますが、フレイルの最も大きな要因はサルコペニアです。サルコペニアにならないように自分自身の筋肉量を測定し、理解して筋肉を貯筋してきましょう。			

64	高齢化の進行と拡大する健康格差　―健康寿命をさらに延ばすには―			
	講師	特任研究員　　森　　文雄		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	我が国の平均寿命は男女ともにますます延びてはいるけれども、健康寿命との開きは拡大する傾向にある。その結果、健康を損ない自立した生活が困難な要介護状態の高齢者は増加する傾向にある。この課題を解決するために、地域ごとや個人ごとの健康格差が拡大する要因を明らかにすることによって、健康寿命をさらに引き上げる方策について明らかにしたい。すなわち、健康格差を社会的要因と個人的要因の両面から考察します。加えて、生涯学習と生涯スポーツの概念を用いて健康づくりについて、講師の体験や実践例をもとに、実技を交えながら具体的に紹介します。			

65	生活習慣病と認知症を予防する運動、食事、脳トレーニング			
	講師	特任研究員　　森　　文雄		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	要介護原因で一番多いのが脳血管疾患、次いで認知症の順になっています。具体的には、生活習慣病と認知症を同時に減らす必要があります。そのためには、高齢者のみならず中高年の皆さんが元気なうちから、自己管理の自覚をしっかり持つ必要があります。 健康は病院に行く前に、日ごろの心掛けで自分で手に入れるものです。特に、運動不足と偏った食事や多量の飲酒を解決しなければ、健康寿命を延ばすことはできません。講師の実践例を紹介しながら、身近な健康づくりについての講話と同時に、軽い運動や脳トレゲームもいたします。			

66	コロナ禍におけるスティホームと健康問題			
	講師	特任研究員　　森　　文雄		
	対象	一般	受講者人数	上限なし
	新型コロナ感染症の完全終息がなかなか見えてこない状況下で、現役世代は失業や労働時間短縮さらにはリモートワーク時間の増加、高齢世代は感染を恐れての引きこもりの時間が増加しています。これらの結果、健康診断や診察を回避したための病状の進行や発がんの発見遅れが多くなっていると同時に、運動不足による生活習慣病の進行や外出機会の減少からの認知症の進行も見られます。そこで、高血圧、高血糖や認知症を予防する生活習慣の改善と食事内容、さらに在宅でも実施可能な運動であるストレッチやウォーキングの実技で体力を維持して老化の進行を抑制する提案を行います。			

67	メタボリックシンドローム　～最新の知識と対策～			
	講師	特任研究員　　安江　俊二		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	メタボリックシンドロームについて、最新の知見を紹介し予防と対策について具体的に指導します。			

68	生活習慣病を予防し健康を維持増進するための有酸素運動などについて			
	講師	特任研究員　　安江　俊二		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	40名程度
	内臓脂肪型肥満を改善し、生活習慣病を予防し、健康を維持増進するために、有酸素運動、抵抗性運動およびストレッチの理論と実践方法について具体的に指導します。			

69	老化と寿命　～最新の知見と対策～			
	講師	特任研究員　　安江　俊二		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	老化はなぜ起きるのでしょうか？　寿命は延ばせるのでしょうか？　老化・寿命のサイエンスの最先端の研究からえられた知見を紹介し、生活習慣病、がん、フレイル等を予防し健康寿命を延伸するための対策について勉強しましょう。			

70	酵素は偉大な働き手			
	講師	特任研究員　　安江　俊二		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	生命は代謝によって維持されています。代謝の立役者が酵素です。ヒトの代謝において酵素がどのように働いているか勉強しましょう。			

71	スローステップ・スロージョギング・インターバル速歩講座		
	講師	特任研究員　　安江　俊二	
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数　40名程度
	肥満、ねたきり、認知症、メタボ、生活習慣病等の予防および健康寿命を延ばすために、スローステップ、スロージョギング、インターバル速歩を始めましょう。スローステップ・スロージョギング・インターバル速歩は、膝や腰にやさしい運動です。特にスローステップ運動は室内でも行えるので雨の日や積雪時にも実施可能です。体構成（体脂肪・筋肉量）や運動時心拍数を測定し、健康度にあった安全で有効なスローステップ・スロージョギング・インターバル速歩を指導します。		

72	「食と健康」		
	講師	特任研究員　　眞鍋　久	
	対象	高校生・一般	受講者人数　上限なし
	食物摂取の基本、日本型食生活、糖質制限、血糖値、生活習慣病、百寿者、健康寿命、時間栄養学、生き生き活動、肥満、AMPキナーゼ、アディポネクチンなどの用語を交えながら、健康維持･増進を図るための具体策を論じます。講座内容は対象者に合わせて調整します。		

10　食品・調理に関連する講座

73	おいしく減塩しましょう		
	講師	食物栄養学科　　教授　　宮下　朋子	
	対象	一般	受講者人数　25名程度
	減塩に気を遣うことは、味噌汁や煮物の塩味をただ薄くすることと思っていませんか？そのためにおいしさは失われていませんか？本講座では、塩分濃度差の識別検査を通し、ご自分の好む塩味が適正かどうかを知ってもらいます。さらに、調理実習を通し、塩分を減らしてもおいしく料理を作る方法を知っていただきます。（本学調理実習室での実施限定）		

74	おいしさを科学する		
	講師	食物栄養学科　　教授　　宮下　朋子	
	対象	高校生・一般	受講者人数　40名程度
	味噌汁や煮魚、野菜炒めや唐揚げ。日頃良く作る料理だけれど、どうも美味しく出来ない。上手にできない。そんな経験は良くあることと思います。調理とは、食品に化学的・物理的変化を加えて食物にする操作です。料理を上手においしく作るコツについて、科学的な視点からお話します。		

75	シミュレーション・あなたの食生活　～フードモデルで楽しく知ろう栄養バランス～			
	講師	食物栄養学科　　講師　　加藤　亮		
	対象	一般	受講者人数	40名程度
	皆さんは食事バランスガイドをご存じですか？現在、料理の組み合わせによって栄養バランスをとる方法が推奨されています。本講座では最新の栄養指導ツールを使って、皆さんの食事のカロリーや栄養バランスを採点します。方法は100種類以上のICタグ内臓フードモデルから皆さんが普段とっている料理を選んでセンサー台に置くだけです。 エネルギーや栄養素の過不足が瞬時に計算されて一目瞭然です。併せて料理の分類のしかた、バランスの良い組み合わせ方をお話しします。目指せ料理の組み合わせ名人！！			

76	フードモデルとICタグを用いた新しいツールで食事バランスを学ぼう			
	講師	食物栄養学科　　講師　　加藤　亮		
	対象	一般	受講者人数	50名程度
	精巧なフードモデルにICタグを組み込んだ新しいツール、食育SAT（さっと）システムは料理を選んでトレイに乗せるだけで、瞬時に栄養価を計算し、選んだ食事のバランスを診断します。本講座ではこの新しいツールを用いて、料理の組み合わせによる栄養バランスの取り方を学んでいただきます。目指せ！！組み合わせ名人！！やせたい人、より健康になりたい人、生活習慣病で食事療法を始めた人、どんな対象でも対応します。			

77	魅力的なトレハロースを知る			
	講師	食物栄養学科　　講師　　小林　未希		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	30名程度
	市販の洋菓子や和菓子の原材料名を見ると、高い割合でトレハロースが記載されているのをご存知ですか？トレハロースは椎茸やなめこ等のきのこ類や海藻類など身近な食品にも含まれている糖ですが、食品・料理に及ぼす効能が高いとされています。本講座では、トレハロースの効果的な使い方についてやさしくご紹介します。			

78	腸を元気にして 心身健康に			
	講師	食物栄養学科　　講師　　小林　未希		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	30名程度
	腸内細菌は、健康維持や老化防止のために働く善玉菌、数が増えると健康を損ねたり老化を促進させたりする悪玉菌、それらの数が多い方に加勢する日和見菌が存在します。私たちの体は食べ物からつくられているように、腸内細菌も食べたものの影響を強く受けています。そこで、腸内環境を整えることを意識して、腸にイイ食生活を一緒に考えてみませんか？			

79	本物のだしでおいしく減塩お味噌汁を体験しよう			
	講師	食物栄養学科　　助手　　阿部　桂子		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	20名程度
	市販のだしの素を使用して作るお味噌汁には、意外と塩分が多く含まれていることをご存知ですか？最初は薄いと感じても、食べ慣れることによって、旨味を美味しく感じることができます。薄味を実感してみたい、料理の濃い味付けや食生活を見直したいという方、薄味のお味噌汁を体験してみませんか。			

80	体験しよう！食品の加工			
	講師	食物栄養学科　　助手　　阿部　桂子		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	16名
	何気に食べている食品は、どのようにしてできているかご存知ですか？食品を加工することは、その食品の栄養価が高まったり、保存性が高まったりと、様々な利点があります。材料から味噌やジャムを加工してみませんか？実際に自分で作ってみると、いろいろな発見があります。			

81	楽しく過ごすための「一人暮らしの食生活」			
	講師	食物栄養学科　　助手　　水尾　和雅		
	対象	一般	受講者人数	30名
	これから一人暮らしを始める方、一人暮らしをしているけれど食生活が乱れている方・・・そんな方々と一緒にどのような食生活をすれば良いのか考えていきたいと思います。あまり難しく考えず、楽しい食生活が送れるようになりましょう。			

82	「大豆の魅力」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	中学生、高校生、一般	受講者人数	上限なし
	食物としての大豆の魅力を、日本人の食生活、畑の肉、アミノ酸スコア、ベジタリアン、豆腐、豆乳、味噌、納豆、機能性成分、大豆オリゴ糖、イソフラボンなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

83	「作物のもたらす栄養成分」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	作物は様々な魅力ある成分を、私たちに提供してくれています。作物がどのような環境下で関連成分を合成しているのかを、光合成、でん粉、グルコース、緑黄色野菜、機能性成分、フィトケミカル、ストレス付与、浸透圧、甘味、うま味、抗酸化、ポリフェノールなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。加えて、ヒトが関連成分を摂取した際の効用についても説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

84	「果物の効用」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	果物は、糖分の取り過ぎに注意すべきとされていますが、最近になって、果物の機能性が注目されるようになり、果物を意識して摂取すべきとの声が強くなっています。本講座では、いかなる果物にどのような健康効果が期待されるのかを解説します。また、加工処理した果物に付与される特性についても説明します。			

85	「D-アミノ酸と食物」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	アミノ酸は、三大栄養素の一つであるたんぱく質の構成成分であることはよく知られています。その一方で、アミノ酸にはL体とD体が存在することはあまり認識されていません。一般代謝系に組み込まれるアミノ酸は、たんぱく質を構成するアミノ酸を含めて、全てL体です。ゆえに、生体内で機能しているアミノ酸はL体がほとんどです。最近になって、D-アミノ酸が生体内で重要な役割を果たしていることが明らかにされつつあります。D-アミノ酸が「コク」をもたらすなど、食の分野での意義も知られつつあります。本講座では、食との関わりを意識しながら、D-アミノ酸の特性をわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

86	「呼吸と発酵」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし
	生物は、食物を摂取することにより生命を維持できています。生物は体内で、食物に蓄えられているエネルギーを、自身が生きるために必要なエネルギーに変換できるからです。本講座では、最初に、ヒトの体内でなされている「好気呼吸」による変換方法を、次いで「発酵」による変換方法を示します。その際、炭水化物、グルコース、酸素、水素、酸化、還元、好気、嫌気などの用語を使いながら順序立てた説明を行います。本講座をとおして、生物進化の一端が把握できるようになります。			

87	「発酵食品の魅力」		
講師	特任研究員　　眞鍋　久		
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
塩こうじあるいは醤油こうじがブームになるなど、発酵食品が見直されています。本講座では、日々の食生活に欠かせない発酵食品を例示しながら、発酵食品の魅力を伝えます。あわせて、発酵食品の製造原理や発酵微生物についてもわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

88	「水あめのおはなし」		
講師	特任研究員　　眞鍋　久		
対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
筆者らは、南会津地域でなされている「麦芽水あめづくり」に興味を抱き、食科学に関わる調査研究を行っています。得られた研究結果の一端を、「いちからつくるあめ」(本間裕子･眞鍋 久編 農文協)と題する絵本形式の書籍で紹介しています。本講座では、「水あめ」や「あめづくり」について、この書籍に示されている内容を交えながら、わかりやすく説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

11　社会福祉に関連する講座

89	施設内虐待を考える～なぜ援助者が虐待に走るか、その防止策と対策～		
講師	幼児教育学科　　教授　　市川　和彦		
対象	一般	受講者人数	50名程度
2011年6月障害者虐待防止法が成立し、福祉各領域における虐待の防止が、法、制度的には整いましたが、虐待といわれる適切な関わりとはなにかを知ることと、虐待をなくすためには利用者との適切な関わり方を知ることが大切です。本講座では虐待という行為とは何かを学び、事例検討、ロールプレイ等の演習を通して具体的防止策、対策について学びます。			

90	利用者と福祉援助者のメンタルヘルス～タッチングケアと怒りのセルフコントロール～		
講師	幼児教育学科　　教授　　市川　和彦		
対象	一般	受講者人数	50名程度
主に言葉によるコミュニケーションが困難な重度の知的障害児者へのタッチング・ケアなどによるコミュニケーションの実際“触れる関わり”と、親・保育者・援助者の感情、特に怒りに対するセルフコントロールについて学びます。			

91	暴力防止サポート			
	講師	幼児教育学科　　教授　　市川　和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
	突発的な暴力や他傷に対する緊急避難のための技術も大切ですが、暴力や他傷に至る前の対応、普段の関わり合いが大切です。知的障がい者施設等における利用者さんからの暴力・他傷を援助者はいかに理解し対応したら良いかを実技やロールプレイを通して学び、トレーニングします。			

92	障がい児者虐待防止ファシリテーター養成講座			
	講師	幼児教育学科　　教授　　市川　和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
	虐待防止のためには、それぞれの施設、地域などの身近な場所で小集団によるワークショップ型の取組が有効です。本講座では、ワークショップを企画し、虐待について語りロールプレイなどを通して具体的対策についてリードすることのできるファシリテーターの養成を行います。障がい者当事者の方もぜひご参加ください。 10:00～17:00までのワンデーで実施します。申し込まれた方の都合に合わせ日程を調整します。〔（土）、（日）〕			

93	元気が出るダンス・ワークショップ			
	講師	幼児教育学科　　教授　　市川　和彦		
	対象	一般	受講者人数	20名程度
	知的障害や自閉症のある方たちとダンスを通した交流をします。音楽に合わせて動きをシンクロさせる「シンクロダンス」やヒップホップとエアロビックをあわせたダンス「ダンスビック」で楽しく体を動かします。運動不足解消にも最適です。所要時間は大体６０分～９０分です。汗をかきますので、着替え、タオル、上履き、のみものをご持参ください。障がいのある方、ご家族、支援者のかたふるってご参加ください。			

94	話し上手は聴き上手			
	講師	幼児教育学科　　准教授　　木村　淳也		
	対象	小学生 ・ 中学生 ・ 高校生・一般	受講者人数	30名程度
	話が上手な人は、まず相手の話をしっかりと聴いてから自分の意見を伝えるといいます。自分の言葉を相手に受け取ってもらうためには、相手の言葉をしっかりと受け止めることがまず大切です。では、上手な話の聴き方とはどんなでしょう。日頃の会話を思い出しながら、上手な話の聴き方について一緒に考え、体験してみましょう。			

95	意外と知らない福祉の仕事、福祉の資格		
	講師	幼児教育学科　　准教授　　木村　淳也	
	対象	一般	受講者人数　30名程度
	「福祉」ということばは良く聞くけれど、福祉の仕事ってどんな仕事があるのでしょうか。また、福祉の専門家ってどんな人なのでしょうか。知っているようで意外と知らない福祉の資格、福祉の仕事についてお話します。		

96	地域で安全・安心に暮らしつづけるために		
	講師	幼児教育学科　　准教授　　久保　美由紀	
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数　30名程度　1回まで
	自分が暮らしたいと思うところで暮らし続けることは特別なことではありません。でも、現実には難しい課題も多くあります。誰もが自分が望むところで暮らし続けることができる社会をつくっていくにはどうすればよいのか、考えていく機会をつくっていきます。		

97	高齢期の生活と福祉		
	講師	幼児教育学科　　准教授　　久保　美由紀	
	対象	小学生・中学生・高校生・一般	受講者人数　40名程度　１回まで
	高齢期＝高齢者のことと考えていませんか？「人生100年時代」といわれる今日、よほどのことがない限り、多くの人びとが高齢期を迎えることになります。だれの人生の延長線上にも高齢期はあるのです。高齢期とは、人生のどんな時期なのか、そしてどんな特徴をもつのかを知りながら、誰もが迎える高齢期に自分が考える暮らしを実現させていくにはどうしていけばよいかを考えていきます。		

98	年金、健康保険、介護保険のイロハ		
	講師	特任研究員　　石光　　真	
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数　上限なし
	短大で社会保障論を講ずる教員が、年金、健康保険、介護保険のイロハを解説します。		

12　幼児・児童に関連する講座

99	味オンチにさせない子どもの食事　　－　乳幼児期の減塩は生活習慣病を防ぐ　－			
	講師	食物栄養学科　　教授　　宮下　朋子		
	対象	一般・保育園の保育士・栄養士および調理師	受講者人数	内容により変更有り。要相談
	代表的な生活習慣病である高血圧は、子どもの頃に作られた食習慣、特に過度な塩分摂取の習慣に起因することが言われています。高血圧は、成人だけでなく、乳幼児においても一定数いることがわかっています。一生の味覚を組み立てる乳幼児期に塩分摂取が多いと、その後の食習慣、味覚感受性に影響を及ぼし、味オンチ、健康オンチになる危険性があるのです。子どもの健康な一生のために塩分の摂取量を低く抑えることが必須です。 本講座では、なぜ乳幼児期に減塩が必要なのか、どうすれば減塩できるかなど実例を紹介しながらお話します。 基本的に体験授業ですが、講義のみも実施可能です。講座の内容により実施場所・受講者人数が変わりますので、ご相談ください。			

100	「個別育児相談」			
	講師	幼児教育学科　　教授　　郭　小蘭		
	対象	一般（乳幼児の保護者）	受講者人数	5名程度
	子育ての知識が普及してきている今、保護者の子どもに対する理解が深まりつつ、同時に自分の理想像で子どもをみたり、子どもの気持ちがわかっていない自分自身を責めたりしている保護者。そういう時に身近に「うちも」や「大丈夫だ！」と言ってくれる誰かがいるとどんなに心強いでしょう。私はその身近な存在の一人として保護者の声を聴き、個別相談に応じます。「個別育児相談」を企画してくれる所にいきます。			

101	音で遊びましょう			
	講師	幼児教育学科　　教授　　河原田　潤		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	50名程度
	「音を出す」というのは、楽器等の道具を扱うだけではありません。私たちの日常の身の回りにある物で、意外な物から意外な音が出せたら楽しいですよね。そんな音の出る物を作って鳴らして遊んでみませんか？新たな発見があるかもしれませんね。保育者として、子どもと良い時間を共有するきっかけはそんな所にもあるかもしれませんよ。そして音で遊びながら、一緒に保育の事も学びましょう。			

102	幼稚園の先生・保育士を目指す生徒さんたちへ			
	講師	幼児教育学科　　教授　　河原田　潤		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	上限なし
	「先生」という言われる職業は数あれど、その中で保育園・幼稚園の「先生」という立場は一番重要であると思います。それは幼少時に経験することが、その人の一生を左右するきっかけになることも多いからです。 子どもは「遊ぶ」事から色々な事を学びます。本講座は「遊ぶ」事を通して、将来幼稚園の先生、保育士を目指すために必要な技術や知識を一緒に学び、これからの目標を共に考える場にしたいと考えます。学校単位でも歓迎します。			

103	子ども理解と支援			
	講師	幼児教育学科　　講師　　吉田　亜矢		
	対象	保育教諭　幼稚園教諭　保育士	受講者人数	10名程度(応相談)
	日々想い悩みながら保育されている幼稚園教諭、保育士を対象とします。 受講者の事例をもとに乳幼児の理解を深め支援につなげられるように参加者の皆様とともに学び合いましょう。			

104	子育て相談			
	講師	幼児教育学科　　講師　　吉田　亜矢		
	対象	乳幼児の子どもをもつ母親	受講者人数	5名程度(応相談)
	お母さんも一人で悩みを抱え込まず、日々笑顔で子どもを向き合っていただきたいという願いから、乳幼児期の子どもをもつお母さんを対象とし、子育て支援の一環で乳幼児期の発達や関わり方等それぞれの悩みを共有したり、お母さん同士の交流を深め、子育ての活力になるような温かい雰囲気の会を目指します。 ご要望によっては個別相談も受け付けます。ご要望の方は予めご連絡ください。			

105	子育て支援			
	講師	幼児教育学科　　講師　　吉田　亜矢		
	対象	乳幼児の子どもをもつ母親	受講者人数	10名程度(応相談)
	乳幼児期の子どもは幼稚園や保育園で様々な葛藤を経験しそれを乗り越えて成長していきます。 そんなときに一番の支えになるのがお母さんが話を聴いてあげることです。 お母さんの存在が子どもにとって一番の支えになりますので十分に話を聴いてあげてほしいと願っております。 子どもの葛藤を支え、自己決定を促す話の聞き方を学びましょう。（内容に関しては応相談）			

106	幼児期および児童期における体力の現状と体力向上への取り組みについて			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	一般（保育士、幼児保護者、児童保護者）	受講者人数	40名程度
	幼児期および児童期における体力の現状についての理解と発育段階における体力・運動能力の特徴を理解することを目的とします。体力・運動能力を向上するに当たり、取り組むべき内容についても理解していきたいと考えます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。			

107	体つくり運動			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	小学生・中学生・高校生・一般（小中高教諭、児童保護者、運動指導者等）	受講者人数	40名程度
	学校教育における体育の体つくり運動について理解を深めます。体つくり運動に含まれる多様な動きをつくる運動遊びについても学びます。幼児期から児童期における必要となる運動について理解を深めます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。			

108	幼児における発育発達を考慮した運動指導について			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	一般（保育士、幼児保護者、児童保護者）	受講者人数	40名程度
	幼児における運動指導に関しては、参考となるエビデンスが様々存在する。これまで幼児教育に携わる指導者と意見を交換してきたが、理論と実践が上手くつながっていない、理解されていないと思われることが多々見受けられる。これらをつなげるべく発育発達を考慮した運動の指導法について、実技を交えて理解を深める。			

109	体組成（筋肉量）について			
	講師	幼児教育学科　　講師　　渡部　琢也		
	対象	幼児、小学生、中学生、高校生、一般	受講者人数	100名程度
	体力向上は、少子高齢化が進む中で健康な生活を続けていくために非常に重要である。体力向上に加えて、筋肉量の維持増量も健康な生活を続けていくために非常に重要な要素になってくると考えられる。科学の進歩によって、簡便に体組成、筋肉量の測定をすることが可能になった。病院や研究施設ではなく、学校現場や公共施設などでも訪問して簡便に測定することが可能である。自分の体組成、筋肉量を測定して理解しましょう。			

110	みがいて、みがいて！			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	25名程度
	道端に落ちている石。彼らはでこぼこ、ざらざらしています。そして普段目にする彼らの色は、本当の色ではありません。丁寧に磨き上げると、スベスベ、つるつる、ピカピカと質感が変わっていきます。そして、ピカピカと磨き上がったとき、彼らは本当の色味を見せてくれます。石のもつ素材感、魅力を、皆さんの手で引き出してあげましょう！			

111	点で描く、プラネタリウム			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
	夜空に輝く星。小さな星、暗い星、大きな星、明るい星、みんないろんな点。集まって見える夜空の美しさは、みなさんもご存知の通り。今回、蛍光塗料を使って、いろんな点を描きます。描き上げた作品をブラックライトで照らしてみると、自分たちの夜空が輝きだします。完成して、体感する、自分達だけのプラネタリウム。			

112	つながる形、変身する形			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	30名程度
	どの家庭にもある洗濯バサミ。つまんで、つまんで、つないで、つないで。簡単に形が広がっていきます。触覚を使って、構成を楽しむにはとても優れた素材です。私はその洗濯バサミを4、000個ほど持っています。4、000個使ったら、それはどんな姿になるでしょうか。手を使って形作る、構成遊びです。			

113	光のおもいで、日光写真			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	小学生、中学生、高校生（幼児でも問題ございません）	受講者人数	20名程度
	写真とは何でしょうか。現代はカメラがとても身近な存在です。思い出の記録として、簡易に用いることができます。写真はもともとフィルムを使っていました。今回はその原始的な仕組みを体験できるように「感光紙」を用いた写真体験を行います。誰でも簡単にできる、この技法で、青写真を描きましょう。			

114	多面体で秘密基地			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	年長児、小学生	受講者人数	20名程度
	木の枝等の棒材を使い、多面体の構造を利用して秘密基地を作ります。骨組みのベースができたら、毛糸や葉っぱ、用意できる材料で装飾していくと、だんだんと壁、屋根ができて秘密基地が完成します。出来上がった秘密基地は多面体の構造を利用しているため、丈夫で長持ち、雪がふるとかまくらになるかもしれません。その場に現れるインスタレーション、空間遊びを楽しみましょう。			

115	木片であそぼう！			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
	素材にはそれぞれ魅力があります。その良さを生かして組み合わせを考えることも表現です。 木片は玩具メーカーからいただいていますが、商品として使われない木片は、独特の模様がついていたり、穴が開いていたり、形に加えて素材感も表情豊かです。この木片を使ってオブジェやロボットを作成します。			

116	色水でインスタレーション			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	30名程度
	赤、青、黄、三原色からなる色彩表現、色の広がりはとても幅広いです。本講座では色水の作成を通して、色について体験的に学び理解を深めます。作った色水日光に照らされるときれいな色味を伝えます。作品はインスタレーションし、空間表現としての色を体感します。			

117	造形ワークショップ			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	20名程度
	造形表現は様々なシーンで体験活動が可能です。本講座はご依頼先の対象、環境、予算に合わせて実践内容を検討し提案します。			

118	病魔退散！アマビエづくり			
	講師	幼児教育学科　　講師　　葉山　亮三		
	対象	幼児、小学生	受講者人数	20～３０名程度
	アマビエは妖怪の一種ですが、昔疫病が流行することを予見して現れ、私を描いて飾れば疫病が治まると伝えて去っていきました。新型コロナウィルスによって、なかなか過ごしづらいところもありますが、アマビエというこれまで注目されていなかった妖怪をみんなで作成してみましょう。体の鱗に紙皿を使いアマビエを共同制作し、大きなアマビエが平穏をもたらすことを願います。			

13　教養に関連する講座

119	器楽合奏と楽器（コントラバス）のレッスン			
	講師	幼児教育学科　　教授　　河原田　潤		
	対象	主に中・高・一般の方	受講者人数	要相談
	職業音楽家としてのキャリアを生かし、器楽合奏（主にオーケストラ・アンサンブル）や、専門であるコントラバスのレッスンで一緒に勉強してスキルの向上を目指します。			

120	英語発音トレーニング			
	講師	幼児教育学科　　教授　　若林　達司		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	10～15人程度
	題名の通り、英語発音のトレーニングを行います。自分の発音のどこがよくないのか？どんなふうに発音すればいいのか？発音のコツは？発音が上手くなればリスニングの力も一緒に上がります。正しき発音は正確なリスニングに通じる。今後の英語学習の仕方を英語発音トレーニングのワークショップも交えながらお話ししたいと思います。			

121	筆記体で書いてみよう			
	講師	幼児教育学科　　教授　　若林　達司		
	対象	中学生・高校生	受講者人数	10～15人程度（応相談）
	英語の筆記体、書けますか？　筆記体で書けなくてもブロック体で十分、ICTが普及した今の時代にそもそも手書き文字を練習する必要はあるのか？など筆記体への視線は冷ややかになっています。必要性の度合いを考えればできなくてもいいと言えますが、敢えて筆記体に挑戦してみようという講座です。筆記体が書ければ英語好きになるかもしれません。練習用の教材などはこちらで準備します。			

122	「地表における食物成分の循環」			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	小学生・中学生・高校生	受講者人数	上限なし
	私たちは、日々、食物を口にしています。食物には様々な栄養成分が含まれており、摂取した食物中の各成分は、消化器官で消化･吸収されたあと、細胞内に取り込まれて代謝されます。これらの代謝物は、体成分にされたり分解されたりしながらそれぞれの役目を果たします。その後、関連成分は地表に放散されます。次いで、微生物等により無機化され、さらには植物等により同化されたあと、動植物を介して食物にかえられます。私たちはその食物を摂取しますが、食物中の各成分のその後のゆくえは、上述したとおりです。これらから、食物成分は地表で循環していることがわかります。こうした食物成分の循環サイクルが滑らかに稼働すれば、地表における環境悪化の低減化につながります。講座内容は対象者に合わせて調整します。			

123	食べ物の栄養素を化学の目でとらえてみませんか。			
	講師	特任研究員　　眞鍋　久		
	対象	高校生・一般	受講者人数	上限なし
	食べ物の栄養素には、三大栄養素である｢炭水化物｣｢脂質｣｢たんぱく質｣に｢ビタミン｣および｢ミネラル｣を加えた、五大栄養素があります。本講座では、各栄養素を｢化学｣の視点に立って、順次わかりやすく解説していきます。今回は、｢炭水化物｣および「脂質」を取り上げます。食科学を系統的に学びたい方や食科学の知見を深めたい方におすすめの講座です。			

124	効果的な外国語学習のコツ			
	講師	特任研究員　　石光　　真		
	対象	中学生・高校生・一般	受講者人数	上限なし
	英語ドイツ語フランス語ロシア語中国語の通訳ガイド資格や検定合格歴を持つ教員が、効果的な外国語勉強のコツを伝授します。			

11　社会福祉に関連する講座

125	コミュニティでつくる教育入門			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	中学生・高校生・一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	現代社会において、学校教育は教職員、保護者のみで支えられるものではなくなりました。地域住民・地域団体・公共施設（図書館、美術館、博物館、公民館など）が連携して、子ども一人ひとりの育ちを支える、「コミュニティ・スクール」という考え方がますます重要となります。本講義では、「コミュニティでつくる教育」の基本的な考え方、理念、政策、事例分析まで行います。本講座では、特に先進地域での事例分析に重きを置いています。事例を踏まえて、みなさまのコミュニティや団体でどのような実践ができるか、ワークショップ等を踏まえて考えていきます。また、中学生・高校生向けの出張講義・出張ワークショップもできます。			

126	コミュニティでつくる教育 実践編			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	高校生・一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	コミュニティに根ざした学校・教育づくりをしている地域がますます増えてきています。そのなかでも、地域独自の特色ある教育実践をしている自治体・学校も数多く見られます。しかしながら、地域独自の教育実践・教育環境づくりをするためには、多くの知識や準備が求められます。本講座では、コミュニティに根ざした学校・教育づくりをしている自治体・団体・個人の方々を対象にして、具体的にどのような実践をしうるのか、どのような環境づくりが望ましいのかについて、ワークショップ形式にて考えます。そして、具体的な教育実践・教育環境づくりをするところまで目指します。この講座は、「探究」「総合的学習」等の探究的な学びの場に向けたワークショップにも最適です。複数回にすることもできます。			

127	コミュニティでつくる教育 調査編			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	本講座は、コミュニティに根ざした学校・教育づくりをしている自治体・教育委員会・団体へ向けたものです。「コミュニティスクール」「子どものサードプレイス」「ユースワーク」等、子どもをコミュニティで見守り、支える活動が増えてきています。そこで重要となるのが、子ども（利用者）や保護者、地域住民のニーズに応えられているかをいかに評価するかです。本講座では、利用者インタビュー、地域でのフィールドワーク等を踏まえた調査法について講義します。調査法を理解し、実践を組み立てることまでのプロセスづくりを目指します。			

12　幼児・児童に関連する講座

128	教育・保育で用いるICT教育 入門編			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	本講座は、主に幼児教育～高等学校までの教職員・教育委員会へ向けた、ICT教育の入門講座です。GIGAスクール構想にはじまり、学校におけるICT教育の推進が目指されています。多くの学校において子ども個人向けのタブレットやPCの配布も進んでおり、ますます授業活用・課外活動・保護者連携におけるICT利用が重要となっています。本講義では、ICT教育導入から初期までの段階にある幼児教育～高等学校の各学校の教職員・教育委員会職員へ向けた講座です。ICT教育の考え方、ICTでできること等の基礎的な知識から、Google Workplace等のサービスに関する説明と実践での応用など、導入～初期における基本的な理解を目指します。			

129	教育・保育におけるICT教育 事例分析編			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	本講座は、ICT教育の導入が進み、教育実践・保育実践におけるICT利用を促進したい個人・団体・自治体向けのものです。福島県では、FCSというシステムが導入されています。FCSは、Google Workplaceをベースとしたシステムです。全県でのICT利用促進のために、このFCSは導入されています。本講座では、FCSのベースであるGoogle Workplaceを活用した授業実践についてお話しします。私が福島県内の自治体で実際に活動した経験を踏まえながら、どのような教育実践・保育実践がありうるのか、事例を踏まえながら考えていきます。			

130	教育・保育におけるICT教育 情報モラル編			
	講師	幼児教育学科　　講師　　高田　正哉		
	対象	一般（団体含む）	受講者人数	上限なし
	本講座では、小学校～高等学校における情報モラル教育について、情報モラルの考え方から事例まで紹介します。現在、情報モラル教育は、利用の仕方を制限する「モラル」から、情報を活用し、自ら責任ある市民として情報社会で生きる「デジタル・シティズンシップ」という理念が提唱されています。この「デジタル・シティズンシップ」のあり方を理解し、具体的に教育実践でどのような導入ができるのか、ワークショップ等を踏まえながら理解します。			